

大正七年七月一日發行

婦人と子ども

第十八卷

第七號

フレールベル會

婦人と子ども 第十八卷 第七號 目次

子供の衛生	弘田長
幼稚園の此頃	倉橋惣三
關の西より	楓二子
フレーベルを憶ふ	
不思議なマント(お伽ばなし)	ないとう生
多摩川に遊ぶの記	記者
雜錄	

律動的遊戯講習

土川五郎氏の律動的遊戯は昨夏文部省保育講習に於て發表以來廣く全國の幼稚園に行はれ其の教を乞はんことを希望せらるゝ諸君各地に尠からず。乃ち今夏文部省保育講習の爲に多數保姆諸君の上京せらるゝを期として熱心なる諸君の爲に便宜を提供せんが爲、本會より特に土川氏に乞ひて左の通り講習會を開催す。文部省講習に出席せらるゝ方と然らざるとを問はず、多數諸君の出席を希望する處なり。

一、期日 八月五日より九日まで五日間

毎日午後一時より凡そ三時間づゝ

一、會場 東京女子高等師範學校内

一、學科及講師

律動的遊戯（土川氏「律動的遊戯」第一集及び新刊第二集）

東京市麴町小學校長 土川五郎君

一、會費 金七十錢

一、申込 七月末日までに東京女子高等師範學校附屬幼稚園内フレイベル會宛

七月

フレイベル會

おまぢかぬの

土川先生著

◎律動的遊戯 第二集

定價金四拾五錢
送料金貳錢

第一集に於ての經驗と先生の熱心なる研究によりて著されたものであります、少しも早く御使用下さい。

土川先生著

◎六色三體つなぎの理論と使ひ方

定價金四拾五錢
送料金二錢

石版、彩色圖入でありまして之れに先生の實際的御研究になつた、懇切なる説明と理論を著述せられたものがあります。旺盛なる律動遊戯がすんで靜かに、美しい、六色三體を御使用下さい。

◎六色三體

定價金三十六錢
紙品金三十六錢

土川先生の御意見を伺ひ製造方法を改良し固形による御使用に對し最も適切に且つ御便利に出來てゐます。

◎軍艦組立

定價金壹圓八拾錢

木製(ムク)でありまして最も堅牢に出來てゐます、車が二個着いてゐますから、綱によつて曳く時は、恰も大海の波上を航行する様であります、而もこれが「マスト」「煙突」「大砲」「空氣入れ」などがバラバラに分解せらるゝ様になつて居ます、競走遊戯等に御使ひになる時は、二つなり三つなりを遊戯場の向の方へ分解(別々)或は纏めて置いてとして置きまして幾組かに分けた幼兒を二、三ノ三で駈らしめその組々によりて一艘の軍艦を組立て先生の下まで早く到着することを樂しむのであります、軍艦といふことに就て海事思想を養ひ、組立により思考力を養ひ視覚の練習にもなります。

保育用品發賣元

館ルベールフ

町番三町麴京東

〇四六九一京東藤振
九〇九二町番麴電

婦人と子ども

第十八卷
第七號

大正七年七月一日發行

子供の衛生

東京帝國大學
醫科大學教授

弘 田 長

生物はすべてその生存の必要上外界から養分を取らなければならぬ。人間は爪がのびるとか毛が抜け交るとかいふやうなことがあつて所謂新陳代謝が絶えず行はれるために一方からはその補ひをつけて行かなければならぬ。これが一の目的で人間は食物を取るのである。

それから又人間は常に一定の體温を保たなければならぬ、この體温を維持しない時には身體を動かすことが出来なくなるのである。この一定の體温を保つためにも亦人間は食物を取らなければならぬ。

以上は大人の身體に就て言つたことであつて、子供は身體がズン／＼發育して行く時代にあるのであるから大人よりも以上の程度に於て食物を必要とするのである。大人が三の食物を必要とする場合には子供は十の食物を必要とすることになつてゐるのであつて、このことを承知して居らぬと子供が食へ過ぎはしまいかといふやうな餘計な心配をすることになる。子供の間食は贅澤や體屈のためにするのではなく生理的の要求から來るのである。子供は多量の食物を取らなければならぬのであるが胃には限りがあつてさう無暗に取るわけ

にはゆかぬ、そこで間食を食べて幾度にも滋養分を取るのである。

乃で何ういふものが一番多く滋養分を含んでゐるかといふに、これには蛋白質、脂肪、含水炭素の三つが目安であつて、この三つが適當に入つてゐる食物が一番滋養に富んでゐる食物といふことになるのである。而してこの三つを萬遍なく攝取するためには野菜と肉とを適當に配合した食物を選ぶやうに心掛けねばならぬ。旅順籠城の時に露國の軍人が罐詰の肉類ばかりを食べて野菜を食べることが出来なかつた爲めに壞血病に罹つた話や昔の水夫は海中で魚肉ばかりを食べてゐて病氣になつた話や、その他肉類のみを用ゐて病氣になつた例はいくらでもある、いくら滋養があるからと言つて牛肉と鶏卵ばかりを食べさせられては子供も堪らない。さうかと言つて野菜ばかりに偏するのも無論よろしくないのである。

今上に述べたことを少しく數字的に説明すれば

大人は一日に一升三四合の水と別に大體次に示す如き割合の食物を必要とする。

蛋白質 五〇—七〇瓦(勞動するものとしな
いもので差がある)
脂肪 二八瓦
含水炭素 三一〇瓦
而して子供は次の如き割合である。

蛋白質 五六瓦
脂肪 四〇瓦
含水炭素 一七四瓦

次ぎには吾人が日常用ゐてゐる食物の成分の分析表を参考のために示すことゝしやう。

	%	蛋白質	脂肪	含水炭素	纖維	灰分
サウメン(煮)	二、四	〇、〇七	一七、一一	〇、三	〇、二九	
パン	六、五	一、二〇	五、四	〇、五	〇、七	
フ(生)	一三、三	〇、一〇	一四、五	〇、五	〇、三	
ウドン(煮)	四、八	〇、一〇	二五、九	〇、三	〇、五	
高野豆	四、四	六、〇〇	二六、八	〇、五	二、六	
豆腐	六、五	二、五	一、〇五	〇、三	〇、四	
乾エンドウ	二、六	〇、五	五、三	七、三	二、四	

同インゲン豆	三〇、三六	一、〇七	五、一九	四、四九	三、四七
同ソラマメ	二六、八六	一、二九	四、四九	一、三三	三、二一
同黄大豆	三六、七一	一七、四三	二四、三九	二、四七	五、〇〇
同黒大豆	四〇、二五	一八、二六	二、七九	三、八六	四、五五
スルメ	六九、五五	三、三三	—	—	六、二七
タコ	一七、〇七	四、五二	—	—	一、四三
カマス	一七、九八	二、一一	—	—	一、二九
サワラ	一九、二二	一、六六	—	—	一、六六
アユ	一七、六六	一、八九	—	—	一、五五
ドジョウ	一八、五三	二、七三	—	—	一、五三
鰯(カレイ)	一八、二〇	六、二八	—	—	一、二三
牛 肉	二八、二〇	一六、〇〇	〇、四四	—	五、二〇
鶏 卵	二三、五五	二二、一一	〇、五三	—	一、二三
牛 乳	三三、〇〇	二二、五五	四、五二	—	〇、七〇
米 飯	二、五五	〇、〇三	三〇、七二	一、〇六	〇、〇三

麩は小兒の食物としては結構である、消化もバ
 ンと同じ位で、豆腐よりも樂にこなれる。尤も右
 の表を見て成分だけから子供の食物を選んでゆく
 のはいけない、第一が成分、第二が消化、第三が
 味といふ順序でよく調べてみなければならぬ。麩

などは第一、第二の點から見て誠によろしいので
 あるが味の點に至つて少しいけない、それ故料理
 法を研究して子供にうまく食べさせるやうに工夫
 出來ると大變結構であると思ふ。タコやスルメな
 ぞは成分の上から見ると非常にいゝやうであるが
 消化が甚だわるいから子供の食物としては禁物で
 ある。人蔘もあまりこなれの方ではない
 何うかすると便にそのまゝの形で出て來ることが
 ある位であるから幼稚園時代の子供には人蔘を用
 ひない方がよろしいと思ふ。

子供の食物を選ぶときは纖維が多いか少いかと
 いふことに注意しなければならぬ。これはつまり
 消化の難易を知るためである、纖維の多いものは
 消化がわるい、従つて上等の食物ではないのであ
 る。卵の花の如き、滋養分はあるけれども纖維が
 多いから子供の食物としては不適當である。

肉類は煮たものゝ方が子供にはよろしい、煮る
 と纖維が消化し易くなるからである。

果物も少しはよろしい、あまり與へ過ぎるはいけない。

蛋白質を多く取らせるといふ目的からいふと魚肉を用ゐるのが一番いゝやうである。鶏卵も無論よろしい。

子供の食物として新鮮な野菜を煮るのも甚だ結構である、さやえんどう、ほうれんそう等もよろしい。豆類もよろしい。次ぎにお辨當の話を少し試みやう。

一體、幼稚園のお辨當は理想をいへば幼稚園で焚出しをしてくれると一番いゝのである。さうすれば夏季でも腐敗する怖れもなければ、冬でも氷のやうに冷めたい御飯を食べさせなくとも濟むしお母さん方もお辨當で頭を痛める必要がなくなつて、誠に都合がいゝのである。これは園の方にもいろいろ御都合もあらうが何とかして實行していただきたいと思ふのである。

先日「婦人と子ども」の十一卷五號に載つてゐ

る御辨當の報告を見せていたゞくと海苔巻御飯と玉子の御飯が大多数であつた、滋養の點から言つて誠に結構であります。ただ海苔巻御飯ばかりが毎日つづく和孩子のために可哀さうな氣がするだけである。その他煮魚、焼魚等を持つて來られるお子さんもあつたやうであるがこれも亦無論結構である。こんにやくや梅干や福神漬や蓮根や椎茸もあつたけれどもこれは賛成出來かねる。こんにやくは蛋白質一、〇、脂肪〇、〇八、含水炭素五、四で滋養分もあまり豊かでないばかりでなく消化が非常にわるい。福神漬は腐る憂ひがなくてよささうであるが子供の食物として適當なものではない材料の野菜に古いものを用ゐるから非常に纖維の多いわるい品で作つてあるから消化は決してよろしくないのである。椎茸も消化がわるいから小さい子供には用ゐない方がよろしい。蓮根もあまり好ましくない。しかし絶対に用ふべからずなぞと言ふのではない、まア度々はいけけないのである。梅干は何か特別の場合であつたのであらう。

(文責在記者)

幼稚園の此頃

倉橋惣三述

さうかうしてゐる内に幼稚園はお晝になります
幼稚園では正午よりも少し早く御辨當を差上げる
ことになつて居ります。これは一時に幼稚園が終
りますので、御辨當を食べて直ぐおしまひになる
のも少し變ですし、大抵二時か三時頃御家庭で間
食をお興へになりますので——調査いたしましたこ
ろによりますとどの御家庭でも大抵一日に二回の
間食をお子さんにお興へになるのが普通のやうで
す——それから又朝の始まりが早いので朝の御食
事から大變間のあるといふことも考へ合せて少し
早いお晝、即ち十一時頃に御辨當を開くことに決
めて居ります。

御辨當のよしあしは、これは全く御家庭でなさ
ることでありまして、幼稚園の關する所ではない

のでありますが、たゞその食べ方に關しては幼稚
園の方でいろ／＼御注意申上げる場合があるかも
知れませんが、併しお茶の水幼稚園では食事の時に
あまり行儀を云々いたしません。尤も或る幼稚園
では食事の時だけ特別によく氣をつけるところも
ありますが當幼稚園では食事の時は他の時よりも
少しお行儀をよくするといつた程度であまり窮窟
な行儀をお小さい方々に要求いたして居りません
食事が濟んで了ふと含嗽を致します。これは無論
齒を大切にする考から起りましたことでありまし
て、幼稚園だけで含嗽をしても御家へ歸つて含嗽
なさらなければ效は薄いのであります。御承知の
如く都會人は誠に齒がよろしくないのでありまし
て、殊に幼兒は體格検査表に據りましても齲齒の

數が非常に多いのであります。これは食後に含嗽をしないからだと言つて了ふことは出来な
いかも知れませんが、含嗽をよくすることによつて齶齒の數を増やさずに濟むといふことは事實で
あります。三度の食事の中一度だけは幼稚園に居るので含嗽をするといふのではあまり效がないの
であります。それが何うも一年の内三分の一だけお子さんが含嗽をなすつていらつしやることになつて居るのであるまいかと心配に思ふのであります。

齶齒になるのも大いに困ることではありますがこれ以外にもつと困ることはお子さん方に幼稚園でだけ含嗽はするものである、お家ならそんなことはしなくてもいゝのだが幼稚園だからそんなことをするのでといふやうに考へさせたらこれは實に困ることなのであります。と申しますのは先刻もお話し申しました通り、幼稚園は家庭と同じやうなもの、尠くも幼兒には家庭と幼稚園とを區別す

るやうなことはさせたくありません。一方に於ては眞個の自己を現はし他方に於てよそゆきの自己を現すといふやうなことをせずに、平氣で、ありのまゝの自己を以て生活してゆく幼兒を欲するのであります。子供の生活に表裏あらしめる位ならば子供が齶齒になる方がまだましであります。

一體、よそゆきといふこと位子供をわるくするものはありません。大人になりますと随分このよそゆきを澤山持つて居る方があります。よそゆきの着物は無論のこと、よそゆきの言葉、何うかするとよそゆきの心なぞと使ひ分けをすることの出来る方さへもあります。平生と違ふのだからそのつもりでなぞといつて大いに一時的に心を入れ替へやうとする人もありますが却々六ヶ敷いことでもあります。

よそゆき、よそゆきといふのはよそゆきを尊重するやうで別に不都合はないやうでありますが、このことは同時に平生を打ち棄て、願みないとい

ふことになり易いからいけないのであります。平生だんであるから、毎日のことであるからよく爲さなければならぬのであります。それですからお子さんが幼稚園へ来てよそゆきの心持でいらつしやるのは非常にいけないのであります。次郎さんなら次郎さんが幼稚園へ通ふやうになつてから大變よくなつたと保母さんが安心して居ると豈計らんやそれはよそゆきの次郎さんであつて、本當の次郎さんはチツともよくなつてゐないといふやうなことがあつては保育の效かはないわけでありませう。合嗽がせうなども何うかこのよそゆきにならないやうに家庭に於ても十分勵行していたゞきたいと思ふのであります。私共は本を讀みましたり、人に聞きましたり、たまには自分でも考へたりしまして、いろ／＼計畫を行ひたいと思ふことがありますが御家庭と一緒に歩調を合せて平行して行くことが出来ないためによそゆきのお子さんを作つて了ふ恐れがあると思つて屢々差控えること

があるのでございます。私共は常に我國の今の子供の普通の生活に標準をとつて居るのでありまして、合嗽は決して理想に過ぎた行ひであるとは思はないのであります。

幼稚園で行つてゐることは實にたわいのない、誰にでも出来るやうなことのやうに一寸見には見えるかも知れませんが却々さう生易しいものではないのであります。古い譬ですが水鳥が樂に水上に浮ぶためには絶えずその足が動いてゐなければならぬのであります。附添の方なぞですと表面だけから見ても幼稚園なんて實にたわいのないものだと思ふかも知れませんが、而して忠義な附添の方なぞは家へ歸つて奥さんに幼稚園では何も教へてくれるのではありません、何も高い保育料を拂つてあんなところへ行かなくても、電車賃さへいたゞけば私が坊ちやんを谷中の裏の方なり日比谷公園なりへお連れ申して遊ばせて上げた方がよろしうございます、何も六ヶ敷いことはありません

砂をいぢつてゐればいゝのです、木の葉を拾つて居ればいゝのです、とこんなことを申されるかも知れません。誠にその程度の方の仰有ることゝして無理はありません。あのぶら／＼と遊んで居るところに重大な教育的意味を汲みとるには十分の學問と識見を要するであらうと思ひます。あの一生懸命になつて、他のことを投げ打つて無心になつて遊ぶといふことが幼稚園の生命であります。

こゝは皆さんに十分に御了解になつていたゞきたいと思ふのであります。附添の方がお子さんを待つ間に何かの雜誌でも御覽になつてゐて、今は實に大切な時機である、世界は將に改造されんとしつゝあるではないかと言つたやうな記事でもお讀みになつた後でゝもあると幼稚園でやつてゐることが實に齒痒くて砂の山がくづれたつて、折紙を何う疊んだつてかまわない、もつとしつかりしなければ仕様がなないと大いに慷慨さるゝかも知れません。

誠に世界の形勢を見たら少しでもヂツとしてはゐられません、しかし子供は十分に遊んで、その時期に適當な教育を受けてゐれば澤山であります世界の形勢によつて直接に兒童の生活を何う改造しやうなどといふことを考へることは要らないのであります。我々大人にとりましては世の中のこと、自分の家のことなどは一生懸命になることは容易いのであります、おもちやなり砂なりを持つて子供と共に一生懸命になることは實に六ヶ敷いのであります。これは大きな學者や大きな事業家が各々その天職とするところに對して眞面目であると少しも劣らぬ程度で眞面目でなければ出來ないことでもあります、一生懸命でなければ出來ないことでもあります。

若い人々で保母にならうとされる方々はよく幼稚園を門の外から若しくは垣根の向ふ側からだけのぞいて來られた方が多いのであります。垣根の内には綺麗な花が咲いてゐて、楽しさうに蝶々が

飛びまわつて居ります。それで蝶々と一緒に飛びまわつて遊んでゐたら何んなに愉快であらうかと思つて門の内へ入つて來ます、しかしその方は直きに三百六十五日蝶々と一緒に飛びまわることを容易でないことを知るのであります。たわいないことを馬鹿々々しく思はずに子供と同じ緊張した心をもつて行つてゆくといふことは實に六ヶ敷いことなのであります。

以上のやうな順序で幼稚園は一時になりますとお子さん方をお宅におかへしすることになつて居ります。尤も時にとつてこの一日の順序がまるきり崩れて了ふやうなことがあります。それは幼稚園が社會の行事に倣つていろ／＼な計畫をするところがあるからであります。例へばこの間中は相撲期節でありましたので幼稚園の中にも土俵が出来て毎日皆がそこで相撲をとつたりそれを見物したりしました。明神様のお祭だといふのでお神輿を拵へたこともあります。こんな風に男の子のため

の特別な遊びばかり續いた後には女の子のためにお菓子の製造を始めたりすることもあります。最中の皮と晒餡なかとを買ひ込んで來て最中を拵へ皆に配つたりするのであります、私もためしに御相伴いたしましたがかかなり鹽辛い最中でありました。

これは相撲期節、お祭期節にはお子さん方は幼稚園の外で盛んにこれらのことに就ての噂を聞いたり、又實際に見たりします、お祭だつて何だつて幼稚園は幼稚園だといふやうな餘所々々しいものに幼稚園といふものをしてしまひたくありませんので斯ういふやうな計畫も幼稚園に於て爲されるのであります。而して斯ういふやうな場合に幼稚園の日程に多少のくるひの生ずるのは誠に止むを得ないことでありまして、この方が反つて生命のある、ゆとりのある本當の日程となるのであります。(文責在記者)

關の西より（二）

楓 一一 子

私は「關の西より」として關西方面のいろいろの事を御報知せたいと思ひます。

然し保育界からは一步も柵外には出ぬ積りです。又之を讀んで下さつて何かのヒントでも得て下されば幸甚です。

○

難波といふ停車場から和歌山行の電車に乗ると四十分位して佐野といふ驛につきます。

此處には大阪府下で一寸面白い變つた幼児が居る、佐野幼稚園といふのがあります。

元來大阪の郡部には六つの公立幼稚園がありません。其内で三つだけは此電車の沿線にありまして郡としては最も多くの幼稚園を有してゐる其郡の中の一つであります。

變つた幼児といふのは異常でもありません、天才的の幼児が居るのでありません。純漁師の子供達が立派な體格で而かも美しい、やのい、皮膚を有つてゐるのが澤山集つてゐる事であります。

私は名札を出して野村主席保母と始めて御顔を合はせました。

百名に足とぬ幼児を集めてゐられます。保母二人、保育室二つです。此處は維新の頃有名な食左太郎氏の舊邸です。諸國諸大名に送るべく小判の荷拵へをしたといふ玄關は今、黄金の音は聞えませぬが可愛い力ある幼児の歌聲がひびいてゐます。外遊の面白そうなのを暫く拜見しまして、二三の立派な體格の幼児を拜見しました。

田舎でも小都會でも常になり易い傾向は刺激が

ないから鳥なき里の蝙蝠になる事であります。

刺激のない中にぼんやり育つた力ない行動は實に退化の進路をとるものです、或人が云つた様に

Generation after generation

といふ事が教育の特性であるとするならば、此力ない行動は反つて幼児を害ふものだらうと思ひます。

幸にも此幼稚園の野村保母は熱心な研究家であり、つも大阪の方へ出られては研究に研究をかさねられ新しき時代に遅れぬ様にしてゐられるそうですあります。

保育室のテーブルの上に咲いてゐました白い薔薇からたゞよふ芳しい香の傍で四月施行の體格検査をせられてゐました。私は傍でみてゐました。

「皆さんは立派な身體か何うかみて上げませうね
よい身體の人は兵隊になれますよ」

と保母が申されました。幼児はさもうれしそうに皆んな喜んで衣服をぬぎまして最後の體重計を降

りる時に

「先生、僕、兵隊になれるんか？」

と其の可愛い唇から洩れる言葉に對して一人一人鄭寧に

「なれますとも、なれますとも、よい身體です。

きつと兵隊になれますよ」

と野村保母が申される。其一人一人に對する言葉にいと満足そうに肩いからして歩んで行きました
女の子も同様に

「私も兵隊になれるんか？」

「立派な御母さんになれますよ」

といふやさしい聲に前途を祝福されながら全部がすみしました。

情意生活、相互生活、注意の廣さの狭小な幼児
ですから一人一人に満足があたへられる様な具體
的な方法でなければ幼児の取扱は失敗でせう。

Must be brought face to face with facts

佐野幼稚園の保母の方々よ、大井川が出水して

諸大名が川止めを喰つた時に其路銀の用を今貴婦達が立つてゐるその食邸に乞ふた様に保育上に於てどうしても渡らねばならぬ川が來た時心理學と教育學の力だけでは駄目です。大名の威光でも渡れぬ川がありました。

教育學、心理學を經とした長い間の研究と、經驗を緯とした一案を川止を喰つた保母が貴婦達のもとに乞ふやうになるまで努力せん事を希望いたします。

○

花咲く西の國へ先頃出かけました。

私は筑紫の國へまで行くといふ積りで梅田から汽車に乗りました。岡山、廣島、熊本、下關、高松、福岡といふ大都市の幼稚園をみたいと思ひました。

以上の内で拜見した處と遂に時間の都合で中止した處もありました。其「筑紫行」の袋の口を開けまして、手にふれた土産物を少々御分けしま

せう。

私は保育法の實際よりも此度は保育材料と其保育成績品(但保育の僅一部分の手法)の觀察と兼ねて保育案や細目よりみたる保育者の保育觀を少しでも聞いてみたいと思つてゐたのです。

熊本市には山崎、吳服、頑臺、名取等の各幼稚園があります。私は午後の半日を此幼稚園參觀にあてましたのでほんの外観だけを覗いたといふ位でした。

土川先生の律動的遊戯は山崎幼稚園の上田保母のもとに於てのみ行はれてゐる様でした。他の園にては餘り實施をみない様でした。

モ女史の恩物も餘り觀迎されてゐる様でした。中に其變形の「コハゼかけ」又は「ひもむすび」等が行はれてゐる様でした。

名取幼稚園の星子保母の處では實に幼兒の描方が上手なのに感心しました。何か特種の方法でも御考案ですかと質問をしましたのに對して同保母

は入園當時は基本的の鉛筆練習を試みさせると言つて居られました。而して其遣り方は例へば直線の練習には雨だとか、横線は雨の水が横に川のように流れる處とか、そこへ風が斜に吹くとか云つて斜線を練習させ、興味多く行はれるといふことでした。さてその後になつて模範を示し又色を示し又自由にも描かしめるやうになさるやうでした。頑臺幼稚園には外遊の運動具の中に小さい籠に綱をつけたものがありました。私はその使用法について尋ねました。その籠は中に球を入れてその球が落ちない様に皆が引張り乍ら馳つこをするのださうです。

山崎幼稚園の上田保姆以下皆御揃でスコップを以て園藝をしてゐられました。

自然を離れての教育は死であります。

私は其外細目及保育案等について質問し又形式をいたゞきました。

保育細目も死んだ細目にならないためにはどこ

までも主知主義に傾かない様の能力本位といふ様に情意陶冶に重きをおいた細目の活用を願はしく思ひ乍ら午後四時過の列車によりて廣島に向ひました。

廣島では第一に流川町の私立廣島女學校の幼稚園を是非拜見したいと思つて夜行で來ました。ねぼけ顔の而かも長途の旅でみすばらしい汚れた乞食の様な風姿の私が玄關を訪ねた時は丁度保育修了式の日で母姉達や幼児やさては若い先生達が立派な御つくりの日でした。

私が幼児——子供——といふ事を思ふ心は決して何人にも劣らぬ積りで居りますので汚れた風はまことに御見ぐるしくはあるだらうけれど私は何でも拜見したいといふ志を名札と共に通しました御混雜の際とみえましたから名札を出しました時に御都合を伺ひましたら少し御待ち下さいとの事でした。

半時程一人應接室でまつてゐましたが何とも仰

有つて下さりません。其内子供の修了式が初まりました。私は修了式の其まとひの末席にでも座らして戴き、罪の子ながら一片の黙禱もさゝげたい氣がしていらしく立たり座つたりしてゐました。

私は豫定を變更する事が出来ませんので時間の都合があるので残念ながらそのまゝ失禮しますと若い主席保母の方に申しましたら然らばといつて別れをつけて門へまで出ました。

ふと私を呼んで下さる御方があるので私はふりなへると年の大分行かれた質素な御方でした。

「遠い處までいらしつて下さつたんですから私で御かまひなければ何處なと御眼にかけませう」と御許し下さる言葉に私は丁度イエスの屍を入れた墓の外で哭いてゐたマグダラのマリアに「婦よ何ぞ哭く」ときこえし天使の聲の様に私にはとび立つ思ひにうれしかつたのです。

「たい子供より學べ」といふ私の衷心が私をここまで送つて來たのに意味なく去らねばならぬ私の

衷心を非常に哀れに思つてゐましたから私は早速と恰も何か重病人の病室の外でも歩く様に硝子戸の外から保育室をみせていただきました。勿論保育修了式をみせていただけませんでした。

私が一種の壓感にうたれた心が二階に陳列されてある幼児の製作品を拜見した時に直に一掃されました。

Dr. Dewey の本の一端を読んでも又 *The Kindergarten and first grade* を読んでも *The kindergarten Primary magazine* を見てもいつでも私の心に一種の刺激を與へつゝあつた眞の錢價は高からねども其の材料より湧いてくる結果の到る行路の尊い思物を今眼の前につくられたのを見て：：實にうれしかつたのです。

私は此の質素な尊い保育者は此の旅人の心をなぐさめて下さつた：：年のたけた婦人に心からの御禮をのべて去つた。

雨はしよぼくふつて私の心に足を洗つて下さつたキリストの心や旅人を懇にせよと教はつた少

さい時の日曜學校時代の記憶がとめどもなく私の心に湧いて來ました。

細心の注意と各方面からの材料配當の具合や形式を集められ七年度より新しい形式の保育案によるべく準備であつた濟美幼稚園の遠山保母に御眼にかゝりました。

廣島に昔から行はれてゐる律動遊戲に土川氏のを加味して行つてゐなざる事や大阪江戸堀幼稚園の膳氏に學んだと申されて自然物利用のいろ／＼の製作品をみせていたゞきました。

廣島には此外に私立岸本保母の經營されてゐる廣島幼稚園と更に無得幼稚園といふ私立幼稚園との二つがある。無得幼稚園長の御話によると大に干渉主義を取つた年もありましたが今年は大に放任主義を取つてゐますといつて居られました。

True freedom is defined as "The opportunity for the fullest development of the total self."
自由と干渉と放任と……私達はどれを撰べばよいでせうか。(終)

雨日物語

五月雨が細かく桐の葉上を撫で、庭一面がしつとりとなると一時に涼風が起つてまゐります。年寄は耐らなくなつてお茶を立てる氣になります。子供は駆け出して石でも弄らうとするのが自然です。『雨が降つてゐるから』と子供を制する親よりも『雨が降つてゐるのに』なせ出して呉れないと怨む子供の方がより以上自然ではあるまいか——お茶ノ水高師附屬幼稚園長倉橋文學士は語を續けて——雨を避ける親の心は宜しくないと思ひます。何故雨を利用して子供を教育するやうに進まれないのでせうか。平素は家事交際色々のことに子供を顧みる暇もない忙しい母親達に取つて洗濯も張物も出來ず又外出にも困難な雨の日は誠によい機會ではないか、それで今日は一日子供を相手に此間から焼て置かうと思つたかき餅を取出して澤山に焼いとかうと火を熾して網をかけます。子供は母の膝近く寄つて餅の焼けるのを待ちませうむかしむかしと焼き乍ら好きな語をして聞かせます。』

フレールベルを憶ふ

Der Weg zum Himmel ist die

Erfüllung der Pflichten der

Erde.

— Pestalozzi —

私達が名もない集會をつくつから早や六年に
なります。花の香を慕つて集つて來る蝶々の様
に私達の憧憬の的天使の様な幼兒——それは私
達が唯一の研究の對象——を中心にして真意義
にふれた研究（換言すれば研究によつて眞に幼
兒の爲にその身心を獻げるといふ聖愛の心によ
り到達する方法）に夜も日も努めて來ました。
私達の同志は數に於ても少なうございます。質
に於ても貧しきものであります。然し天使が住
ふ豊富な天國はかくして私達に與へられるの
であります。

努力といふ事は薄べらなものではありませ
ん。研究といふ事は短かい時間で完了するもの

ではありません。真意義の研究は長い間の時と
努力の集積で初めて一つの階段を昇り昇りして
行く事が出来るその過程が尊い價值をつくるの
であります。

研究々と口と言つてゐる人達にしても真意
義の研究を積んでゐる人は少ないと思ひます。
眞の教育者といふ事は此真意義の研究から湧い
て來た幼兒に對して「離れがたなき心、棄てが
たき心、犠牲を捧げる心」を有したものであり
ませう。

皮層な淺薄な研究、之は反つて世を害します。
害さないまでも少くとも正鵠を失つた事が多く
傳へられます。何にも知らない未熟の人達はそ

れに迷されて其眞髓を誤解する場合が度々起ります。私達同志の者が積年の研究も未だ〜何等のまとまつた處の業績をしたといふのではありません。長い〜間の研究によつて之が其の業績だと示し得なくとも少くとも身心を以て幼兒に捧げ様といふ心の萌芽はたしかに出來ました。本眞劍の愛が漸々に中心から出て來ました。かくて初めてフレーベル先生の精神に共鳴する様になつたのです。

たま〜此處にフレーベル先生の祭典が行はるゝ事になりました。同志の者達は此「子供と共に生活した」偉人を忍び其功績を傳へるといふ事が又先人に對する道の一つでもあらうと考へました。

その先生の大精神に對する憧憬の心より、やむにやまれぬ心より叫んだ私達の衷心の發露をこの貴重な紙面を拜借して載せて頂く事が出來れば光榮と思ひます。たゞ日本の國の一隅で人

にも知れない名もない力のたらない可弱い女達ではあるが、こゝにいふ志を以て絶えず働いてゐる其衷心の發露と思つて下さる方があれば幸いです。(大阪某子)

◎我が憧れの人

大阪御津幼稚園保母 玖 島 くに

春日麗に菜の花に蝶飛ふ今日、逝いた人を紀念致しますには私共保育に携はつて居ります者が集つて、其功蹟を賞へ其美德を忍びます事が、保育者として最も美しい事だと存じます。私は學校で教育史を習ひました時には、深い意味も考へませす只無暗に、一枚一枚頁を繰るに過ぎませんでした。近頃必要に迫られて思はず熟讀精思致しますと、史上に現はれた人々の思想や性格が髣髴として胸に浮び、教育史を繙くと云ふ事がどんなに樂しく又有効であるかと云ふ事が分りました。

扱て今日の逝いた偉大なる教育者フレーベル先

生の御祭典に際しまして、その席末を汚して先生の御肖像に向ひますと、又追懐が新しくなつて丁度生きた教育史を讀む様な氣に滿されます。私はいつもギリシヤ時代からの教育史を一枚一枚讀んで行きますうちに、胸に非常な共鳴を與へる偉大な懐しい一教育者がございました、それは誰で御座いませうか、今日お祭り致すフレーベル先生でございませう。

先生は一七八二年四月の廿一日に小さい赤ん坊としてお生れになり、一八五二年六月迄七十歳の長い年月の間殆ど、安な日を送られた事は一日も無かつたのであります。

けれ共それは外部から見た人々の批評でございまして、フレーベル先生の心の中にはいつもチューリッゲンの中の可愛い小鳥が歌ふ様に、又ブランケンブルグの一孤兒院の庭に笑つてゐる花の様に安らかに、平和な氣分で滿されて居つた事でございませう、しかも外部に向つて絶えず、戦

闘を續けて居られたのであります。これを思ひますと我々保母は外部にどんな壓迫がありましたも又批難攻撃が御座いませうとも、大きな自覺と誠意とを持つてこれに戦ひ内部に於ては天使の様な子供を取扱ふ我々でありますから、常に平和な心を持ちながら熱心に經驗研究して行かなければならないと存じます。

年々歳々花笑ふ四月にはこの御祭典が行はれますから私等は其度にこの思ひ出を繰り返して、新しき生命を得たいと存じます。

◎能力本位の教育

大坂中大江幼稚園保母 平尾 久惠

私は能力本位の教育といふことを陳べさせて頂きます、私共は日々斯く大切な幼兒教育に携はりながら其の大恩人であつたフレーベル先生の御人格なり御精神を充分に窺ひ知ることが出來ずに居ますことは誠に慚愧に堪えぬ次第でございませう、

昨今漸々其の著書人の教育の一二頁を繙きまして先生の御人格が如何にも崇高であり又思想が實に至れり盡せりで如何にも深遠であるのに感じ非常に興味を覺えました折柄今日のお祭に遇ひましたので先生を思ふ衷情から一言其の思出を陳べさせて頂くことを得ましたのは誠に身に餘りて有難う存じ上げます。

フレーベル先生は只今のお話の様に十八世紀の大偉人であり又幼児教育上忘るべからざる大教育家でございます、そして私共が日頃痛切に感じて居ります能力本位といふことに非常に御心を注がれた方でございます、即ち先生は各個人が自己の本質(個性)を最も純粹に最も完全に又最も明瞭に表現し得るやう各個獨特の本質を充分發揮させ夫れを正しく純良に導きてこそ眞に教育者の義務であり目的であると各個獨特の能力を非常に尊重されて居ります。

然るに私共は往々其の本末を誤りて單に兜を摺

み三寶を作らば足る様に考へて時には親達や子供の一時の歡心を得んがために未だ充分發達せざる幼兒に六ヶ敷きものを強ふることがあり又劃一的に保母の考案したるものを命令的にさせ或は又一人にて出来ること迄助力し與へて受動的の意久地無にするやうなこともあるかの様に考へられます、夫等は皆幼兒の能力を無視したる保母本位の教育であつて全く機械的形式主義旨的模倣と云つても敢て過言でなからうと存じますそして其の弊害の恐しきことは今更申上げる迄もございませぬ、生きた保育者はそれで満足しては誠に濟ないことだらうと存じます先生のこの大精神に鑑みて其の個々の能力に應じたる刺戟と指導とをなし其の最も尊ばれた能力本位といふことを能々味ひ毎日の保育を少しでも有効にしたいものだと思ひます。鶴や三寶やを摺みつゝある間に手や目の感覺を通じて諸能力の發達をはかり以て純粹完全なる個性の基礎能力の萌芽を圓滿に指導し得たならば

今日茲にお祭りする先生の御靈もさぞ御満足に思召さること、信じます。

要するに私共は結果に重きをおきて其の結果に至る迄の経路を軽く見る傾があります私達は摺紙をするのにも只其ものを作るのが目的でなく鶴や龜や三寶やを摺むと云ふ動作其のものが尊いのであります。此頃八釜敷く唱へらるゝ動的教育法自發教育、發動主義教育法とか申すものも皆この大精神の餘韻に外ならぬものであらうと存じます私共幼児教育に従事するものも子供の能力を尊んで其の個性を重く見なければならぬと思ひますフレール先生の此の御精神を受け續きて近時其の聲を大きくせられたのは彼のモンテスソー先生でございませう誠に厳しいことを申し上げまして恐縮に存じます。

◎自發活動の尊重

大阪船場幼稚園保姆 櫻井 たみ

私どもの日々子供を保育して参りますのに最も尊重せなければならぬ自發活動は實に今日こゝにお祭して御座いますフレール先生の唱へられました尊い御精神で御座います、先生は此御精神に於て次の様なことを人の教育に述べられて居ります壓迫は奴隸心を生じ規律は盲従を生じ壓制は兒童の天性を破壊し又之を卑屈ならしめ嚴正と峻刻とは強情と不誠實とを生せしむる様になれば教育は全然失敗したものと云はねばならぬ、と申されました、此の壓迫は奴隸心を生じ規律は盲従を生じ壓制は兒童の天性を破壊し又之を卑屈ならしめ嚴正と峻刻とは強情と不誠實とを生せしむる様な結果になるのは私共が自發活動を尊重せないためでありませう。どんな立派な保育案も保育法も又誘導も決して自發活動を没却しては何等の價值なきものと存じます。

私どもが此先生の殘されました幼稚園に居りまして先生の美點を取て次の時代の人に傳へる事は

我々幼稚園教育者の先生に對する徳の一つであらうと存じます。

もし私共が先生のよき處の御精神を汲まずに他の事に走て居りましたならそれは誠に悲しむべき事でありまして此の自發活動と云ふ事につきましては殊更充分意を用ひなければならぬ事と思ひます今日の御祭典に當りまして一言感じました處を述べさせて頂きました。

◎科學的方法

大阪御津幼稚園保姆 長谷川 キヌ

本日は、吾保育界の偉大なる恩人、フレーザー先生御祭典日に當りまして、崇高なる御人格を敬慕するの餘り未熟なる身にも拘らず、思ひ出と致しまして、聊かの談話を御許し下さいましたのは、私として非常に光榮に存する次第でございます。私は嘗て、先生の御著書人の教育に次の様な事の載つて居つたのを、記憶致して居ります。それは

先生が、或る麗かな春の日、書見にも倦み給ひてか、書齋の窓から、つと外を眺めて居られますと直ぐ其下を、日傭人が其子とも思しき五六才の子供と共に馬を牽いて參りました。子供は其手綱の端を、日傭人は子供と馬の中程を、そして樂しげに、長閑なる陽をうけて除、に歩を運んで行きまじた。本當に馬を牽いて居るのは父であります。子供は、馬は自分の意の儘になるものと、思つて居るらしい様子でした。丁度其時、其日傭人の友人らしい人が通りかかりました。其父なる日傭人は、暫く其處で立話をしたのでございます。勿論馬は止りました。けれど前方で専心、馬の手綱を牽いて居つた子供は、急に馬が止つたので、若しか自分の命に背いたのではなからうかと、思つたのでせう、一生懸命力まかせに、手綱をぐいぐいと引きました。然し其父なる人は、唯、「一寸待つておいでよ」と優しく云つたそうでございます。

又、隣の家で同じ年頃の子が、母の命をうけ、

鶯鳥に餌を與へて居りました、所が場所が狭く、爲に雛は稍々もすると、子供の手の範圍内から、逃れようとします、其時、其子は自分の心の爲に何が餌を求めて居る様子でした。所が遂に雛は大道へと逃げ出しました。母は之を見て、『坊や、よく氣を附けないと、いけませんよ』と申しました。

さなきだに、雛の爲に心亂れて居つた其子は、母から此言葉を聞いて、不平に満ち／＼ながら『お母さんは、鶯鳥の世話をするのは、何でもない事だと思つて居るのですか』と、詰問したそうでございます。

之に對する先生の御批評として、子供が、かく両親の仕事に係はると云ふ事に由り、現在又は將來に於て、如何なる發達をなすものであるか、斷言する事は出来ない、が若し、子供を育てる人が、かゝる發達に注意し、之を利用して、子供を育て、行つたならば、將來に於て一層の進歩をなし得るのであらう。と申して居られます。

子供が長上に對して奉仕致します時には、私共が考へますと、極些細な事の様でも子供にとつては、大きな仕事であり、且本眞劍であるのだと思ひます、其時には、諸種の發見も致しませうし、心の餌を得る時でもございませう、そして其間に發達しつゝあるのであると思ひます。

子供が奉仕其他の場合に心の餌を求めて居る時に其状態を察して、適當に之を導いてやつたならば、其子の満足は如何でせう必ず大なるものと信じます。

世の机の上の空論は實際に當つて見ると往々失敗すると申しますが、殊に幼児保育に於ては然うだらうと存じます。理論のみや、私達の頭ばかりでつくり上げた保育の法は、實際に於て、或は不自然になり、或は應じなかつたりする事を免れ得ないと存じます。どうしても幼児の實際を觀察し、之を利用して行かねばならんと思ひます。

純自然な幼児の表出は實に貴いものでございま

す、其豊富なる様式を備へた、幼児等が、色々の場合に發露した一舉一動を、よく觀察し、更に其原因を考究し、批判を加へ、今後の保育の基と致しましたならば、幼児の自然にも合致する事が出來、又、幼児の眞に接する事も出來ると思ひます。

私共は日常、子供となつて共に遊んで居る内に、其一舉一動をも見逃す事なく、充分觀察して、又よく其を利用し、子供の活動を有用な水流へ導いて行きたいと思ふのでございます。

◎子供よく學べ

大阪江戸堀
幼稚園保母 有 澤 貞

私は今日フレール先生の御祭典に當りましていさゝか先生の御靈をなぐさめ申たいと云ふ考をもちまして御教の一端である子供より學べといふ事について一言述べさしていたゞきたいと存じます諺に子供は大人の師匠であるとか申しますが丁度フレール先生の仰せられましたお言葉と一致

して居ります、此お言葉は我々保育に従事して居ります者はよく味ひ肝に銘じて一日も忘るゝ事なく子供をよく觀察し理解して我々もその仲間の一員となつて共に生活しその一舉一動僅かな表出をも見逃す事なく注意して子供より學び以て幼児保育の資料といたすべきであります。

かのアットヴット氏は保育の第一歩は子供と保母の心の接觸點を發見するにあるといはれておりますが此言葉は我々の忘れてはならない事でありまして此心掛がなくては幼児と共に生活する事も出來ず従つて子供より學ぶ機會も見出せないのであります。

又モンテソリー女史は子供は眞の自由のもとに置けといはれてありますがこれを云ひかへますと幼児全生活の充分なる發達に對してよき機會を與へるといふ事でありましてかゝる環境に子供を置た場合のその表出こそ實に價値あり貴きものであります。大人のとても考へつかぬ様な事も子供は

面白く巧に利用致しますし子供の表出は至つて拙き型によつて現れてくるものでありますから心なき大人より考へますと取るにも足らぬ様な事が多くあります、しかしかゝる拙なき表出もその子供の心裡を充分に理解してやりましたならばそこに價あり貴きものでありますから些々たる表出も歓迎して見逃さぬ様にする事が大切であります今迄申述べました心掛と注意とを以て幼児保育に従事いたしましたならばこゝに我々保母は完全に子供と共に生活する事が出来るのであります。

恩師フレーベル先生の靈のやすらかにねむり給へる碑は、雨にさらされ風に吹れて幾百年の星霜をへたる今日、尙残つてをり且永久に朽ちない墓銘である我々をして子供と共に生活せしめよといふお言葉を實現する事は出来ると思存します。

つまり我々が子供より學ばうといはしますならば先其第一歩たる子供と共に生活すると云ふ事が最も大切な事と存じます。

◎ 幼児の遊戯に就きて

大阪區堂島
幼稚園保母

米 谷 フ ク

今日は、フレーベル先生の御誕生日でありますので、紀念のため、御祭をなさいまして、私も亦此處に列席させて頂き、尙ほ其の上に先生が幼児教育に、最も必要で且重大なる意義あるものとせられました、遊戯に就きまして一言述べさせて頂きます事は、私に致しましても誠に光榮と存する次第で御座います。

昔、ギリシヤ時代から此の方、子供の遊戯といふ事に付きまして、多くの人々が集つて色々研究して居りましたが、然し此の遊戯を教育の一方法となさいましたのは、此處に御祭申して御座いますフレーベル先生で御座います。

皆様も御承知の通り幼児は片時も活動せずには居られないので御座います、そして其活動の形式が遊戯となつて表はれて來ますので、幼児に取り

ましては、遊戯は最も尊ぶべき、最も美しき働きで御座います、申し換へますと、幼児の心の必要に應じまして、自然に、自由に活動をいたしまして、心の本質を外部に表はすので御座います、でありますから戦争事、羽根つき等の運動的遊戯にしましても、書き方、積木、摺紙の様な静止的遊戯に致しましても、皆幼児の日常し居ります事は、最も純粹で、最も精神的の活動で御座います。

今日幼児教育上一日もなくてはならない、彼の恩物も、實はフレーベル先生が、千八百三十五年フランケンブルグの青芝の上で、幼児が集まつて毬をなげて遊んで居るのを見て、初めて二十恩物の第一を考へ付かれたので御座います、實に先生は子供の遊びによく注意なされたお方で御座います、幼児が随意に遊んで居ります時は、極めて自然であります、身體上にも、精神上にも充分発達しつゝある時で御座いますから、危険でない限りは、成るだけ自然に子供自身の好むがまゝに、

遊ばすと言ふ事は、保育上必要な事であらうと存じます、そして幼児が自由に遊んで居ります時は、保母も其の子供の仲間に入りまして、子供のお友達と言ふ様な氣持ちになりますと共に、子供にも先生が此の中に居るといふ様な事を思はしてはなりません、要するに遊び其のものは子供の生活であり、本眞劍であり、宗教的でありますから、此の仲間入りをして居ります中に、遊び其のものから、何物かを見出さねばなりませんと思ふのであります、フレーベル先生は次ぎの様な事を人の教育に、お書き残しになりました。

『幼児の遊戯は決して輕々しく見るべきものでなく、實に莊重深遠なる意義を有するものである。母たる者よ遊戯を奨励指導せよ、父たる者よ遊戯を保護して之れを妨ぐる事なからしめよ、眞に人の本性を知る事の出来る炯眼の士は、兒童の隨意的遊戯の中に彼れが將來の内部的生活を達觀する事が出来るのであると』、申されました、私は

先生の此のお言葉を是非學び度いと存じて居る次第で御座います、長々御静聽下さいまして有り難う御座いました。

◎自然に親め

大阪靑幼
稚園保姆 川 西 た か

近頃私共若い保姆が寄りまして熱心にフレーベル先生を研究して居りますので、只今迄申された方々は皆同志の方々に御座います。私も今日此御祭典にのぞみまして仲間の人としてこゝに平素の所感を述べさせて頂くことは私にとりまして誠に光榮に存じて居ります。

私共が初夏の朝まだき郊外に出て見ますと道端の小草のひと葉／＼に宿つた朝露のその光は何ともいへない美しさを感じます。そつと近よつてよく見ますとその小さなひと滴にも大きな自然が寫つて居ります。その美しさは眞球よりも、ダイ

ヤよりも、尙一層けだかいものでは御座いますまいか。此自然が現はす美妙な造化の力は、トンナに無情な私達にいたしましたも何うして其儘に見過されませう。

昔ソロモンの榮華を野邊に咲く百合のひと莖にくらべましたお話も御座います。又一輪の花に佛道を悟つた御弟子も御座いました。

フレーベル先生は「自然は人生の母であり田舎は人生の素地である」と申されてゐますが眞に私共常に心せねばならん御言葉と存じます。此大阪のやうな大都會に於きましてはとも人間の眞の感情などは容易に見ることが出来ません。私共の風習を去り更に虚禮と偽善をとり去りますればあの自分達はそれこそ精淨無垢で誠に慕しいもので御座います。

自然を忘れるものは人間の本質を忘れるのと同様であると申しましたが言ひ過ぎではなからうと存じます。他人の教にも「知識は都會で作る人格

は野で作れと申されてゐますがたしかに眞理である
と深刻に感じるので御座います。

フレベル先生は「幼児は自然に親まじめよ」と
仰せられました。が幼児保育の上に於きまして最も
大切なことゝ存じます。

自然の美しさが子供の心にある感じを與へ子供
が自然に對してその美しさを感じて初めてその親
しみを覺えるので御座います。

野や林の中に生ひたち時を移してゐる人達でも
唯茫然として其の美しさを感じずにあるでは御座
いませんか、この人達は自然に親しんでゐるので
はなくて自然の中に唯生活し唯いきてゐるばかり
で御座います。丁度都會に生れて都の風習に慣れ
その長短善惡に對して何も感じないと同様に眞に
自然を解しない者が總てゝあらうと存じます。

都の子供鄙の子供を問はず保育者は機會のある
毎に適當なる方法によつてこれを指導し能く自然
に親まじめねばならんと存じます。

子供は自然に對しては大人よりもはるかに意味
のある觀察をして居ります。空とぶ鳥を見ましても
道端に咲く一輪の花を見ましても唯その儘に見
過しては居りません。話しても見たり歌つても見
たり畫に現はしても見たり又は其の他のお遊びに
使つて色々な想像をめぐらしてゐるもので御座い
ます。いつかこんなお話を聞いたことが御座います。

或る子供が如何にも嬉しさうな顔をして馬の畫
を書きました。が何故か其馬には澤山の足が描かれ
て居りました。先生は馬は四つ足であるといふ理
由から其相違を正されましたが子供は不思議さう
な顔をしてさうではないといふことを主張いたし
ました。そこで先生は全體其の様な馬が何處に
ましたかと尋ねられますと子供は眞面目な顔をし
てアンコの牧場を走つてゐましたと答へたさう
で御座います。此子供の目には馬の走つてゐる状態
が澤山の足に見へたので御座いませう。然し先生
はその自然のまゝの表顯に對して理解し得なかつ

たので御座います。間違つてゐるといふことは事實にいたしましたも子供の自然觀こそ誠に偉大なるものでは御座いますまいか。

此の様な純自然性の幼兒の保育者といたしまして私共の重い責任をかへり見ますればそも如何なる感じがいたしませうか。

私共の天職といたしまして幼兒と自然、自然と保育といふことを考へまして私共が自然に對して徹底的の理解と其賜物に對して大なる尊敬とにあらがれを持たねばならんと存じます。

亦に染めるも青に染めるも私共の自由といたしますれば保育者として持つ私共の自然觀はより純眞により徹底的に自己をかへり見なければならぬいと存じます。一つの木一つの草にも情を別つやうなゆかしい心根にこの大きな使命を果したいと常々心掛けてゐる次第で御座います。

今日のおごそかなる御祭典に臨みまして崇高なる先生の御人格にあこがれまして教への一端を述べて私共將來の修養の記念と致度いと存じます。

終りに何卒皆様方もこの偉大なる尊敬すべきフーベル先生に就て益々御研究遊ばれんことを切に御望み申し上げます。

（二六三頁雨日物語の續）

子供は餅よりも話の方へ釣り込まれて了ふでせう不圖來客が出来たり用事に起たねばならぬ事も出来たら其れが又何より結構です『お花さんお餅を見てゐて頂戴焦さないやうにネ』母に代つて餅を見守る幼な兒の心理其の注意の働きのモンテソリー以上の教育ではありませんか私は左様思ひます日本では六月の中旬から梅雨と云ふものがあるに定つてある此の雨に對し母親たり教育者たるものは何事か豫め計畫を立て、置かねばならぬ如何でせう此様な幼稚園などで火鉢と網を準備して彼のかき餅焼きを始めたら——園長は笑ひながら——其れとも軍艦が天水を取るやうに其れまで行かぬとも屋根中へ落ちる水を樋か何かで一處に集め水車を廻しコト／＼杵でも打たして見せたら子供は如何に喜ぶでせうか——詩的のやうな園長の談話は盡きさうもなかつた。（國民新聞）

不思議なマント

ないとう生

これは或る國の或る街に起つた話であります。

或る日朝からひどく雪が降つて往來も屋根も眞白になりました。するとその街へ何所から來たのか一人の乞食が現はれました。たつた一枚汚い着物を着たつきりで、ブル／＼とふるへて街の中をウロウロとして居ります。所へ山高帽を冠つて鬚を生した立派な紳士が温さうな外套にくるまつてやつて來ました。乞食は紳士に御辭儀をしながら、『もし／＼旦那様。私は寒くつて堪りません。何卒旦那様の外套を下さいまし』と頼みました。紳士は眉をひそめて『馬鹿奴。貴様にやるやうな外套では無い。あつちへ行け汚い』と叱りつけて行つてしまひました。その次には立派な姿をした奥様が參りました。乞食はもし／＼奥様。私はこゝ

えさうです。何卒奥様のコートを下さいまし』と云ひますと奥様は『何だね。失禮な』と云つたきりづん／＼行つてしまひました。それから來る人來る人に頼みましたが誰も外套をくれる人がありません。もう日が暮れて人通りも少くなりました。そこへ一人の學生がマントを着て元氣よくやつて來ました。乞食は例の通り頼みますと、學生はつくづく乞食の姿を見て居たが、

『やあ、君は定めし寒いだらう。僕のマントを上げるから着て行き給へ』と云つて自分のマントを脱いで乞食にやりました。乞食は嬉しうに何度も御禮を云つてマントにくるまつたまゝ何所かへ行つてしまひました。

その學生は速雄と云ふ名で大變利口な子供でし

た。速雄はよい事をしたと喜びながら家へ歸りました。翌朝目がさめて見ると、まあ驚くではありませんか。昨日乞食にやつたマントがちやんと疊んで枕元においてあります。

何時の間に置いて行つたのかとマントを手にとるとバタリと一通の手紙が落ちました。すぐ開らいて見ると次のやうに書いてありました。

『御親切な速雄君。昨日はマントを有難う。實は私は乞食ではありません。ほんとは魔法つかひなのです。この街では誰が一番親切か試めして見やうと思つて假に乞食に化けたのです。さうしたらあなたが一番親切な方だと云ふ事がわかりました。そこで私はこのマントに魔法をかけてお返し致します。このマントを着るとあなたの體が、他人の目からは見え無くなりますよ。けれどこのマントの不思議の力については決して誰にも話してはいけません。左様なら』

速雄はびつくりしました。とにかくためして見

やうと思つてマントを着て座敷へ行くとお父様もお母様も居らしやいました。けれど速雄が這入つて來たのはお存じ無いやうに『速雄かい』とも仰つしやいませぬ。速雄は庭へ出ますと弟の次郎が遊んで居ました。『おい、次郎』と呼びますと、次郎はあたりをグル／＼見廻しながら『誰だいいたいを呼ぶのは？』と不思議さうな顔をします。速雄は面白くつて堪りませぬ。何時かはこの不思議なマントが役に立つ時が來るだらうと思つてそつとしまつて置きました。

するとその國が隣の國と戦争をはじめました。速雄の國は小さな國だつたので段々に負けてしまつて、敵兵が今にもその街に攻め入りさうになりました。さあ街の人の心配と云つたらたとへやうがありません。遂に王様の御前で會議が開かれました。すると一人の大臣が進み出て『もし敵國の王様の首を取つたなら、きつと敵兵は元氣を失つて逃げるに相違無い』と申しました。そこで直ぐ

『誰でも敵の王様の首を持つて来た者には、勳章と御褒美とを出す國の爲に勇氣ある者は名乗り出よと云ふおふれが来ました。しかし誰もその冒険をやらうと云ふ者がありません。』

これを聞いた速雄は『よい時だ』と喜んで王様の御前にまかり出で、『私が敵の國王の首を取つて来ませう』と申しました。王様は速雄がまだ少年だったのでその言葉を信じませんでしたでしたが、熱心に云ひ張つたので『ではやつて見てくれ』と一振の刀をおさづけになりました。速雄は『きつと成功して歸ります』とお受けをしてその夜の中、誰も氣のつかぬ間に例のマントを身にまとひ、大膽にも敵の陣中へ忍び入りました。所々にかゝり火を焚いて敵兵が番をして居りましたが、不思議なマントを身にまとふ速雄の姿は誰の目にも止りません。やがて敵陣の奥深く立派な天幕をめくらせた假小屋に近づきました。これこそ敵の王様の陣だらうとそつとうかゞつて見ると、中にはかゞり火

を明るく焚いて、立派な服を着た軍人達が卓子をとりにいて、今や勝軍のお祝ひ最中です。速雄はそつと忍び入つたが誰一人見咎める者はありません。暫く片隅に忍ぶ内、やがて宴會も終りになり軍人達はめいめいの陣所へ引上げて行きます。敵王はすつかりお酒に酔つて寢床の上へ横になるとグー／＼と高鼾で寝てしまひました『今こそ』と速雄は王様からさづかつた一刀を引き抜き、そつと敵王の枕元に近より『エイ』と一打に首を打ち落してしまひました。その首をつかむやいなや、一生懸命に敵陣をとび出して自分の街へ引き返し直ぐ王様に御目通りして、敵王の首を御目にかかけました。王様はじめ誰もかも速雄の勇氣に感じ何うしてこの大成功をしたかと尋ねましたが、例のマントの事を云ふのは魔法つかひに止められて居ますから話すわけにはゆきません。とにかく敵の王様を殺せば味方の勝利にきまつて居ますから軍人達も皆勇み立ち敵軍目がけて攻めかゝりました。敵

の方では王様が殺されたと知つて急に元氣が無くなりなりました。所へ速雄の國の軍勢が敵王の首を劍の先へつけて進んで來ましたので、すつかり勇氣を失ひ散々になつて逃げてしまひました。

速雄のお蔭で國が助かつたので速雄の評判は實に大した物です。王様からは勳章と御金を頂きました。街の人々は速雄さん〜とほめそやします。あんまり自分の評判がよいので流石利口の速雄も自慢せずにはゐられません。とう〜速雄は得意になつたあまり、悪い事を惡ひつきました。自分が不思議なマントを持つてる事を誰も氣がつかぬのを幸に毎日のやうにマントを着て街へ出ていたづらを初めました。道を行く人の頭をたゝいたり、鼻をつまんだり、お菓子屋の店からお菓子をぬすみ出したりいろ〜のいたづらをします。けれど例のマントを着て居る爲、誰の目にもつきません。誰も居ないのに鼻をつまゝれたり、お菓子が失くなつたりするので街の人はきつと惡魔の

仕業だと思つて居ました。

速雄のお父様はこの頃速雄が無暗に外へ出歩いたり。何うも様子が可笑しいので、不思議でなりません。或る時そつと速雄の室をのぞいて見ると速雄は戸棚からマントを出してそれを頭からスツポリ冠りました。これは不思議速雄の姿がバツと見え無くなりました。お父様は何もかも御察しになりました。それから尙よく注意すると不思議なマントの事も、この頃街に起るいたづらの主もすつかりわかりました。今まで利口だと思つて居た我子がそんな悪い事をするとは知つたお父様の悲しみは何んなでしたらう。しかし速雄のお父様は偉い方でしたから無暗に叱りません。速雄が自分でほんとに心から惡かつたと氣がつかせやうと思つて一つの方法を考へました、先づその不思議なマントとすつかり同じやうなマントをもう一つ作らせ速雄の知らぬ間にそつとすり代へて置きました。さうとは知らぬ速雄はいつものマントだと思

つてそれを着て街へ出かけました。さうして果物屋の店へ忍び入り林檎を一つつかんで出やうとしますと、不思議なマントと違つて外のマントですから堪りません。すぐ『泥棒』と云つてつかまつてしまひました。

街の人は皆驚きました。あの利口な勇氣のある速雄がそんな悪い事をしたのですもの、速雄はお父様がすり代へたとは知りませんが、自分のマントにはもう不思議な力が無くなつたのだと思ひました。さうして初めて悪かつたと氣がつきました。『ほんとに偉い勇敢な少年は自分の力と學問とにたよらねばならぬ。魔術のマントなどをたのみにしては何んなに成功をしても何にもならぬ』と氣がつきました。さうして自分が今までした事を皆に白状してお詫びしました。さうして前より一層よい少年になりました。

速雄のお父様は『魔術のマントもよい事につかへば役に立つが、悪い事につかへば却つて害をな

すから』と思つて誰にも云はず不思議のマントを焼いてしまひました。

このお話はこれでおしまひでございます。

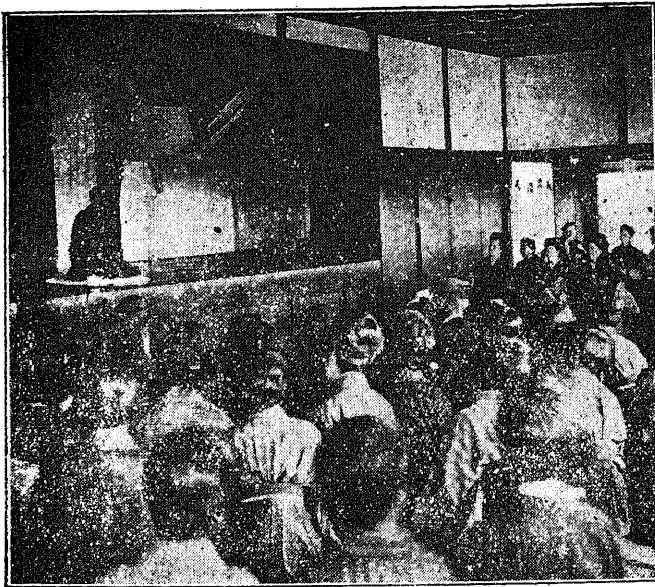
○文部省保育講習會の

粘土製作實習

今夏開催の文部省の保育講習會は、いづれも適切なる學科を選ばれてあるが、就中新海竹太郎、堀進二兩氏の粘土製作實習は最も注目すべきものである。粘土製作は從來も幼稚園に於て用ゐられて居たが、保育の新傾向向上後は特に注意を拂ふべき重要な問題となるべきものであつて、その實習を此の兩講師に依頼せられたことは、斯道の爲最も欣ぶべきことである。新海氏が帝室技藝委員として、文部美術審査委員として斯界の大家たることは言ふまでもない。堀氏亦斯界に於ける新進の大家として、文部省美術展覽會に於て常に其の偉大なる傑作を発表せられ、其の天才的手腕に於て人目を驚かされて居ることも、更めて言ふまでもないことである。兎に角く斯くの如き眞平の藝術家を煩はして、保育上の進歩改善に資し得ることは、我國幼稚園教育の爲に非常に賀すべきことであり、又特筆して誇りとすべきことである。(記者)

多摩川に遊ぶの記

記 者



市内各園の保姆諸氏百五十餘名は去る六月九日多摩川へ清遊を試みられました。

梅雨に入らうとする前の、ともすると曇り勝ちな湿っぽいお天氣がその前日まで續いてゐました。が當日は無類の好天氣、どなたも先づ御挨拶の後には、お天氣都合の誠によろしいといふことを褒めない方はありませんでした。

多摩川電車の起點澁谷停車場前に午前九時までに參集、各自に乗車券を受取つて電車に乗り、終點の一つ手前の停留場で下車して玉川閣に集合するといふことが當日のお約束の一つでした。この「遊び」に多大のお骨折を惜まれなかつた幹事の土川五郎氏は朝の七時頃からお宅を御出發になつたのださうですが澁谷の起點へ來たらもう二三今日

の會員の方々の集つていらつしやるのを見て驚かされたさうです。それ程に今度の計畫は皆さんに心からの御賛成を得たわけなのです。さうです。「遊び」といふ事が我々にも本當に必要なのでありません、而して「遊び」の計畫はこれまで幾度も相談されたにも拘らずいぞ實現せらるゝ日がなかつたのであります。その待ちに待たれた「遊びの日」が今日になつたのであります。我々は本當にうれしかつたのです。日光の圓舞、緑の管絃樂、斯ういふ自然の藝術、健康的な歡喜を味ふことは本當に教育者の名にふさはしい所行ではありませんか。

電車は畑の傍を走り、林の中を潜つて行きました。而して多摩の河原近くへ出てからは水田を堤の下に見るやうになりました。武藏野の特徴は畑と林とまばらな人家だと或人が言ひましたがそれは本當でした。水田のあるところは多摩の河原のホンの少しばかりの地です。

多摩川電車の終點の一つ手前の停留場——それ

は慥か「遊園地前」といふ名であつたと思ひます——で電車を下りて、右へ坂を下ると水田があります。すぐ四五丁先きに丘があつて、その中腹よりやゝ上に純日本式丹塗の建物が見えます、これは多摩川電氣株式會社で經營してゐる遊園地内の玉川閣といふ建物で、今日我々の楽しい會合の午前の部がこゝで過されやうとするのであります。水田には水が涸れてゐました。お百姓は一生懸命にこの乾きかけた土を掘りかへして居ました。近い内にあのやさしい早苗が植ゑられて、目の覺めるやうな青田が風に戦ぐやうになるのでせう。

爪先上りの坂を少しのぼると遊園の入口があります。門を入ると虞美人草が澤山咲いてゐました。遊園地全體はなだらかな傾斜を爲した一つの丘で鹿や猿の檻が此所彼所にあり、又丘の一部を平かにしてテニスコートやベースのグラウンドが出来てゐました。

丘の上の玉川閣は平家建で百疊敷程の廣間があ

ります。天井は格天井になつてゐて龍か何かを描いてありました、それがひどく支那的效果をこの廣間に與へてゐます。否單に格天井の模様以外に朱塗の欄干に凭つて多摩川の清流を望んだところは必ずや支那の文人を悦ばせるであらうと思はれました。六月の始めに蟬の聲が聞えてゐました、而して我々に夏といふ感じを強めさせてくれました。

新緑の毒素といふ程のはげしい言葉を用ゐないまでも、我々はこの生々



とした、はち切れさうな、外へ押し出さなければ止まないやうな力を滲えた鬱勃たる木々の緑葉から一種の壓迫感を與へられることは事實であります我々はこの緑の壁に壓倒されさうになつた眼を打ち展けた河原の方へ轉ずることによつて視線の解放をよろこぶことが出来るのであります。

玉川閣へ會員諸氏が残らず御到着になつたのが十時頃でしたらうか。土川五郎氏が今日の會合の挨拶をなさいまして、それから直ぐに柳家小さん

の落語が二席續きました。最初の話は「麿火事」といふのでした。髮結さんが自分の連添ふ夫の眞實が解らないので型の如く家主のところへ相談に行きます。物識りの家主は孔子様のお言葉を引事にして、夫の大切にしてゐる瀬戸物を持つたまゝ轉んでそれを破壊して丁へ、而してその時夫が瀬戸物のことを言はずにお前の身體に怪我はないかと心配してくれたら眞實のある證據だと智慧を借してくれます。この話のサゲはつまらないものですが、髮結さんが大家さんへ相談にゆくところが實に面白いのです。物の分らない長屋住居の女房が眼の前へ出て來ます。自分の亭主を信じてゐるのか信じてゐないのか一向譯の分らぬところも斯ういふ種類の女らしくてよいと思ひました。女房が轉んだ物音を聞いて亭主が「オイ何うした」と聞いてゐる時我々はこのお神さんと一緒に亭主が孔子様と同じやうな言葉を言ふか何うかと心配しました、而して案外にも亭主が「怪我アしやアしねえ

か」と叫んだとき我々も安心します、しかし一寸飽氣ない感じがしないでもありません、果して女房が喜ぶと亭主は飛んだ憎まれ口を叩きます、「お前がまゐつて了ふと俺が酒を飲めなくなる」。落語の話には矢張理想的のいゝ話といふものはすくないと見えます。尤も落語に對して理想呼ばはりをするのがテンから野暮と仰有ればそれもさうですと引込んで了ふまでのことです。同じく皿をこわす綺堂の新作番町皿屋敷もあまり感心したものではありません、すべて皿こわしは皿に面白くありませんなんて齒の浮くやうな洒落も「遊び」の氣分が性質のよろしくない脱線をしたからでせう。さうざ屁理窟を言つて置いて又小さんでもありませんまいが、もう一つの小さんのはなしは「てんしき」といふのでした。この「てんしき」にせよ、「耐豆腐」にせよ、落語は餘程皮肉なものです。てんしきといふのはお寺の小僧さんの説明によると盃のことださうです。しかしてんしきはそれ以外に黃

色の甘藷性毒瓦斯を意味するのでありまして、お寺の和尚さんがこの隠語を知つた振りをしたが爲めに飛んだお笑ひを演ずるといふのがこの落語の筋です、サゲを言はなかつたところに小さんの貫祿があるのでせう。落語はすべて場景シーンの描寫デクリエーションを用ゐませんが「てんしき」の和尚と醫者との對話にはお寺の大廣間の堂々としてゐるところを描寫して話したならば、この「とんちんかん」な對話が更に一層引立つたであらうなぞと和尚さんに對しては至極可哀さうな批評をなされた方もありました。

小さんのは、なしで一しきり休憩、寄席で行くと申入るといふことになりました。百疊敷の廣間に皆さんはお辨當をお擴げになりました。食べもの品の評會とお間違になつた方が澤山あつたかも知れません、到る所にお菓子お菓子の山、果實果實の林、いやもうおいしいことでした。

賑かな食事が終ると又餘興が始まりました。今度は渡邊省三翁の新淨瑠璃でした。

通俗教育新淨瑠璃の創作者たる渡邊氏は松菊齋といふ號をもつて居られます、山梨縣の方で曾て縣吏郡宰等の官歴を経、詩歌、音樂等多方面の趣味を有さるゝ老翁であります。日露戦争の時、先帝陛下の御製「世と共に語り傳へよ國のため命を捨てし人のいさほは」に感激し、奮然他事を抛ち戦役に於ける勇將猛卒の事蹟及び正史に傳はる忠臣義士の事蹟を書き綴り義太夫節に作曲自演せらるゝのであります。この日は「乃木大將誠忠記」内の爾靈山夜營夢といふ一段が語られました現代式の對話と地の文との移りが耳馴れぬ内は一寸可笑しかつたのですが直ぐ馴れて了つて乃木大將は無論のこと志賀重昂先生や山岡參謀やが目の前に現れて来るやうになりました。大體の筋は乃木大將が爾靈山下の陣營で深更に書類を閲檢して居られると息子保典氏が土まみれの軍服を着て影の如く現れました、大將は何故戦線せんを脱して自分のところへ來つたかと大いに怒つて戦線へ追返しますと丁度その翌日保典氏の戦死が將軍のお耳に達するといふのであります。如何にも凄壯な戲曲的な

場面が實に巧みに美しく語られました、大分手巾を濡らしてゐる方も見受けられました。

淨瑠璃が終つてから、皆さんは玉川閣を出て兵庫島の遊園、即ち多摩の河原に下り立つことになりました。こゝで寫眞をとつてからは隨意解散してもよろしいのでした。

玉川閣から河原までは四丁位もありませうか、幾條の清流は徒渉の出来る位の淺さに走つてゐました。二寸から三寸位の鮎をいろ／＼の仕方であつてゐる人が澤山ありました。多摩川はゆるい曲線を忍がいて上流へも下流へも遠く遠く延びてゐました。川の旋轉に連れて森が遠くへ幾重にもかさなつてゐました。河原にはブランコや圓木があります。尙その他小石と砂はいくらでもあります。記念に小石を拾ふ方、砂の上にとゐして睡じさうにお菓子を上上つていらつしやる方々、たのみは限りがないやうに見受けられました。(終)

附記、この日の催しに對してはフレーベル會、東京市保育會、フレーベル館より寄附金がありまして餘興其他の支出に辨じました。

雜 錄

文部省講習會

文部省に於ては来る八月一日より同十日に至る十日間東京女子高等師範學校に於て幼稚園長及保姆の爲め左記の通り講習會を開催すべしとなり。

一、北海道廳及各府縣講習員の定員は保育科に在りては三人、其他の學科目に在りては各一人とす

一、講習員は地方長官之を選定す

一、地方長官は講習員を選定したるときは本人の氏名、職名、講習を受くべき學科目を記載したる選定書を七月十八日までに文部省普通學務局に差出し講習員を開會前日までに講習會場に出頭せしむべし

一、前表記載の資格を有せざる者は講習員として選定することを不得す

一、地方長官は定員以外に於て豫備員を選定することを得

一、文部省に於て前項豫備員を許可したるときは其の旨地方長官に通知す

一、講習を終りたるときは講習員の出席を査案して證明書を授與す

保育科講習要目

一、粘土製作實習(十六時)

堀 進 二

新海竹太郎

一、保育の手段としての製作(十時)

(粘土製作を中心とせる考究)

(1)保育の手段

(2)保育の手段としての粘土製作

(3)粘土製作の教育的價値

(4)粘土製作の誘導法

(5)粘土製作と他の保育手段との關係

東京女子高等
師範學校教授

倉 橋 惣 三

一、子供の疑問(八時)

(主として自然の現象に關して)

(1)子供の生活と疑問 (2)疑問の實際的取扱

(3)自然の現象(雲と霧、雨と雪、霜と霜柱、露、風等)

4)幼兒にも出来る實驗

東京女子高等師範
學校訓導兼教諭

堀 七 藏

○大阪市保育講習會

大阪市北區保育會にては來る七月十九日より二十三日まで五日間(毎日午後一時より三時まで二時間づゝ、但し日曜に限り午前八時より十時まで)

北區堂島船大工町なる堂島尋常小學校に於て講習會を開催の筈。講演者と演題は左の如し。

幼稚園教育の諸問題 倉 橋 惣 三

○幼稚園保姆の清遊

東京市内及び近郊の保姆諸氏が一堂に會して互ひに胸襟を開きて語笑するの機を得たといふことは永年の希望なりしがフレール會と東京市保育會とが主催の任に當りて去る六月九日多摩川の玉川閣に市内外の保姆百五十餘名の會合は行はれり。當日の詳細なる記事は別項の通り。

の一本白 年幼本白

本誌は、三歳から拾歳までの子供の爲め美しい繪と、面白い噺とを、教育的に組み合せた他に比類なき繪雜誌です。殊に毎號教育的な手技附録を添へます。

本誌は 玩具とお噺しとの興味及び教育的價値を兼ねあはせたるもの、子供には何よりも喜ばれ、何よりもよき友達となる。

定價

壹冊拾二錢 □半年 郵税共七拾五錢
 郵税壹錢 □壹年 同壹圓四拾四錢

御大典記念畫報 婦人畫報
 皇族畫報 少女畫報
 日本幼年

發行所

東京橋鍛冶橋外
 振替東京四九〇〇

東京社

顧問 高島平三郎先生

コドモ

本誌の四大特色

子供繪雑誌は玩具であると同時に教科書であります。お子様方がコドモを御覧になつてゐる間に物事を覚えお行儀がよくなること不思議な位です。

まじめで教育的なこと
繪が叮嚀で美麗なこと
お話が易しく面白いこと
片假名のみで讀易いこと

□ 定價 一冊 十二錢
□ 郵 税 五 厘
□ 六冊 郵税 共 六十九錢
□ 十二冊 一圓三十一錢
□ 郵税 共
□ 總て 前金の事
合本定價

各集郵税共五十錢

東京市小石川區
林町五十七

コドモ社

電話番町六一八
振替東京二七九六三

合本出來

大正三年七月號より
同 大正三年十二月號まで
大正四年一月號より
同 大正四年六月號まで
大正四年七月號より
同 大正四年十二月號まで
大正五年一月號より
同 大正五年六月號まで

會 告

○會費御拂ひ込みの節は名前は初め御入會の時の御名前へと御同一になし下され度く、假令ば初め幼稚園名にて御入會、後個人の御名前へにて會費御拂込み等のことなき様必ず願上候。整理上甚だ煩雜致し候につき右特に御注意願候

○會費未納は會計整理上甚だ困難致候に付確實に御納付下され度向後萬一御不納久しきに亘り候場合は乍遺憾雜誌發送を停止可致候間左様御含み置願候

○會員諸君にて御轉居等の節は至急御一報願上候

○萬一本誌不著等のこと有之候折は直に御一報煩し度候

本誌定價

一冊 郵税共金拾參錢 六冊前金郵税共七拾貳錢
拾二冊同金壹圓四拾四錢 郵券代用 一割増

購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

本會宛御用務

本會免諸般の御用務は左の如く願ひます

庶務及會計に關する御用務は東京女子高等師範學校附屬幼稚園内フレイベル會事務所宛

本誌編輯の御用務(寄稿、廣告等)は東京府下代々木山谷一二四倉橋惣三宛

大正七年七月一日印刷納本
大正七年七月一日發行

編輯兼發行者 倉橋惣三
東京府豊多摩郡代々幡村大字代々木山谷一二四

印刷者 守田 功
東京市本所區番場町四番地

印刷所 凸版印刷株式會社本所分工場
東京市本所區番場町四番地

發行所 フレイベル會
東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

明治三十四年一月廿八日第三種郵便物認可(毎月一回一日發行)

婦人と子ども

第十八卷第七號

大正七年七月
大正七年七月

日納本
日發行

印刷所

凸版印刷株式會社本所分工場